

メタル・ビート

メタル・ビートの特徴

ヘヴィメタルとは、ロックに大別されるジャンルのひとつで、「ロック(岩)」より重い、「ヘヴィメタル(重金属)」という意味で名付けられ、そのサウンドはロックの中でもひとときわ重厚です。

音色面さることながら、独特の激しいビートもその特徴のひとつです。

メタル・ビートには、ロック・ビートでご紹介した特徴に加えて、さらに以下のような特徴があります。

- ツーバスを用いたキックの高速連打
- ダブル・タイムによる疾走感あるビート
- 重厚かつ鋭いアタックの音色

ツーバスを用いたキックの高速連打

ドラムセットの中に2つのバスドラムを組み込んだセッティングのことを「ツーバス」と呼び、別名「ダブル・ベース・ドラム」ともいいます。

両足をつかってキックを連打しながら演奏するのが特徴で、重厚かつ疾走感のあるビートを奏でることができます。

一方で、ハイハットの開閉に使用するための左足がふさがってしまうため、ツーバス連打中はハイハットをクローズできないという特徴もあります。

そのため、原則として、ツーバス連打中は常にオープンハイハットの音色になることを覚えておきましょう。

ツーバス(ダブル・ベース・ドラム)



バスドラムを2台組み込んだセッティングのこと。
両足を使った高速連打が可能だが、その間ハイハットをクローズできない。

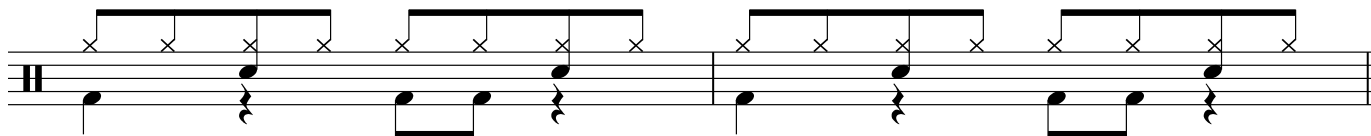
ダブル・タイムによる疾走感のあるビート

メタル・ビートの大きな特徴のひとつとして、
「ダブル・タイム」による疾走感のあるビートが挙げられます。

「ダブル・タイム」とは、通称「倍テン」ともよばれ、
通常の8ビートを倍のテンポで演奏したようなリズムパターンです。

ダブル・タイム(通称・倍テン)

■ 通常の8ビート

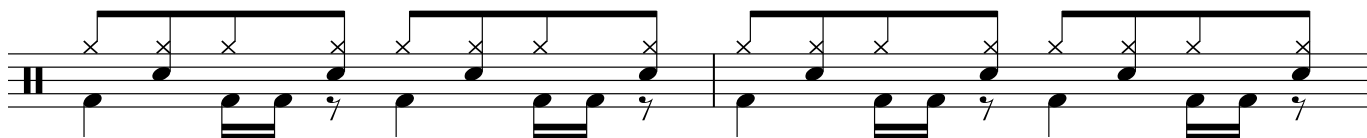


■ ダブル・タイム(通称:倍テン)




メタル・ビート

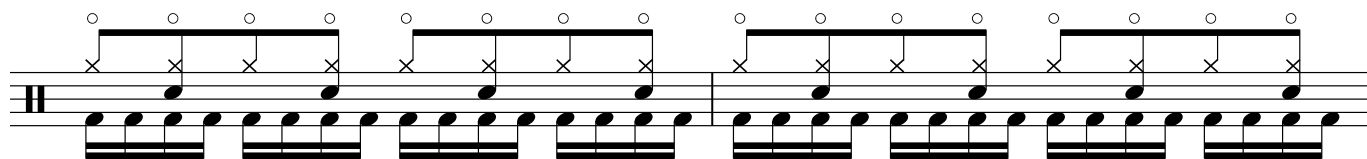
パターン①



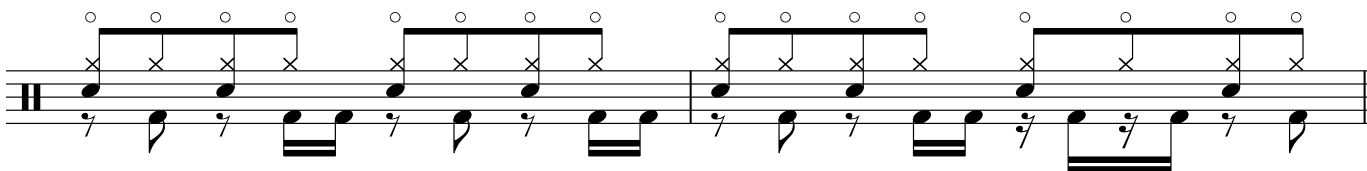
パターン②



パターン③

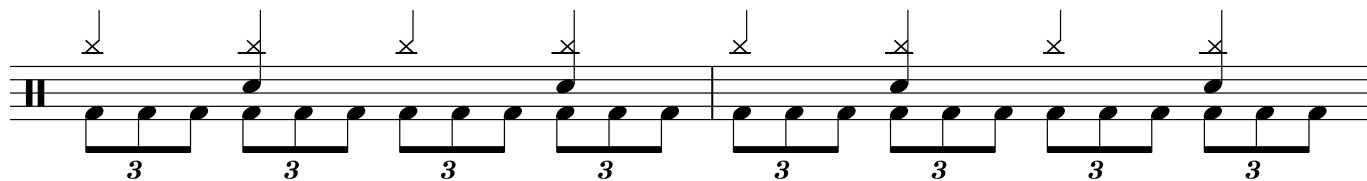


パターン④

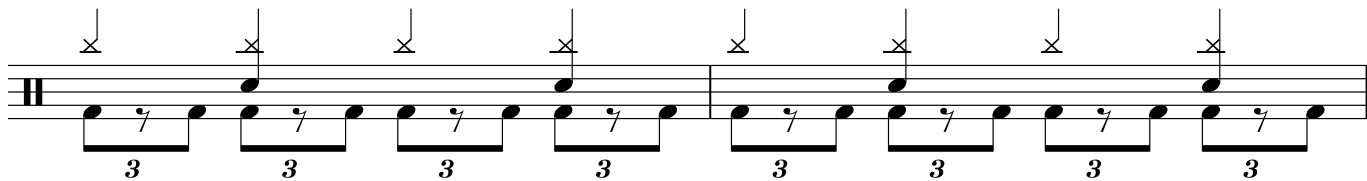


3連系メタル・ビート

パターン①



パターン②



メタル・ビートの音色選び

メタル・ビートでは「重厚かつ鋭いアタックの音色」が求められます。まさに「ヘヴィメタル」という名にふさわしい、どっしりとした低い音程感と金属感のある打音が最大の特徴です。

具体的には、以下を意識すると良いでしょう。

- ロックよりもさらに低いピッチ（音程）
- バチバチした金属的なアタック（打音）
- ザクザクしたルーズ目のハイハット

可能ならメタル専用音色を用いるのが良いと思います。

メタル・ビート打込みのコツ

■ メタル・ビートのベロシティ

基本ビートのベロシティ原則に則りつつ比較的強めで打込みましょう。
とくにスネアは、常時全力で叩くような荒々しさが出ると良いですね。
ハイハットは、スネアと同じタイミングでアクセントをつけてあげましょう。

■ メタル・ビートのクオンタイズ

メタル・ビートでは、
ロック・ビートよりさらに強い「プッシュ感」を演出しましょう。
「スネアは常時プッシュ」「キックもアタマ拍はプッシュ気味」にすると、
疾走感がマシマシになります！